**報告事項 １　令和６年度事業報告について**

事業報告については、定款第３９条第１項により、毎事業年度終了後に理事長が書類を作成し、監事の監査を受けたうえで理事会の承認を受け、同条第２項により定時総会に提出し内容を報告することとされています。

令和６年度事業報告につきましては、令和６年度第３回理事会において中間報告を行うとともに、定款の規定に基づき下記のとおり作成し、令和７年４月２４日に監事監査を受けました。引き続き、令和７年度理事会の決議目的である事項として全役員の承認をいただきましたので報告いたします。

記

**１　令和６年度事業報告**

**Ⅰ　定款に規定された事項の報告**

１　配合飼料価格差補てん事業

定款第４条の（１）に基づき実施した配合飼料価格差補てん事業については、一般社団法人全日本配合飼料価格畜産安定基金および各飼料荷受組合とそれぞれ契約を締結し、基本契約および数量契約に基づき補てん業務を行いました。

（１）事業主体　一般社団法人全日本配合飼料価格畜産安定基金（以下、全日基）

（２）配合飼料価格差補てん契約の締結

①　令和６年度数量契約

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 畜　種 | 当　　　初 | | 実　　　績 | | |
| 加入者(件) | 契約数量(ﾄﾝ) | 契約数量(ﾄﾝ) | 増減(ﾄﾝ) | 構成比%) |
| 乳用牛 | ２４ | ４，０６２ | ４，０２９ | △　３３ | ８．４ |
| 肉用牛 | ５６ | ３３，７８７ | ３３，７８７ | ０ | ７０．６ |
| 豚 | １ | １４５ | １４５ | ０ | 0.３ |
| 採卵鶏 | １３ | ６，３１８ | ６，３１８ | 0 | 1３.２ |
| 肉用鶏 | ６ | ２，６４０ | ２，６４０ | 0 | ５.５ |
| その他 | １ | ９４８ | ９４８ | 0 | ２．０ |
| 合　計 | １０１ | ４７，９００ | ４７，８６７ | △　３３ | 100.0 |

②　契約の解約

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 期　　　　間 | 解約件数 | 解約数量（ﾄﾝ） | 解約畜種 | 備　考 |
| 第４四半期 | ２ | ３３ | 乳用牛２件 |  |

（３）補てん積立金の徴収および納付額

①　通常補てん積立金

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 期　　間 | 加入者(件) | 契約数量(ﾄﾝ) | 積立金の額(円) | 備　考 |
| 第1四半期  第2四半期  第3四半期  第4四半期 | １０１  １０１  １０１  ９９ | １１，９６６  １１，７９３  １２，１３８  １１，９７０ | ９，５７２，８００  ９，４３４，４００  ９，７１０，４００  ９，５７６，０００ | ﾄﾝ当り ８00円 |
| 合　　計 | ― | ４７，８６７ | ３８，２９３，６００ |  |

②　別途納付金　なし

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 加入者(件) | 対象数量(ﾄﾝ) | 別途納付金単価(円) | 納付金額（円） |
| 新規加入者 | ２ | １，１２０ | ０ | ０ |

③　返還金請求

合理的な理由なく令和６年度契約をしなかった者に返還請求を行いました。

該当者１名、返還額10,213円、令和7年3月31日時点で未返還。

（４）補てん金の受領および交付額

①　分割交付金単価

令和５年度第４四半期以降に価格差補てんの発動はなく、令和６年度は令和４年度第１四半期から実施されている分割交付の交付金単価による通常補てん金が交付されました。

令和５年度第４四半期に下記のＡ単価（令和５年度第１四半期～第３四半期）分、令和６年度第１四半期にＢ単価（令和５年度第３四半期）分を交付しました。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 対象時期 | 補てん単価  （円／トン） | 第１回単価  （円／トン） | 第２回単価  （円／トン） | 第３回単価  （円／トン） | 第４回単価  （円／トン） |
| 令和５年度  第１四半期 | ４，２３０ | 1,０５９ | 1,０５７ | 1,０５７ | **Ａ**  １，０５７ |
| 令和５年度  第２四半期 | ３，１５０ | ９００ | ４００ | **Ａ**  ４００ | **Ｂ**  １，４５０ |
| 令和５年度  第３四半期 | ６３０ | ３ | **Ａ**  ６２７ | ― | ― |

②　受領および交付額

発動時期の交付対象数量と分割交付単価①により、下記の通常補てん金が交付（分割交付分のみであり振込手数料は全日基が負担）されました。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 期　　間 | 補てんの種類 | 交付  件数 | 対象  四半期 | 対象数量  (kg) | トン当り  単価(円) | 交付金額  (円) |
| 令和５年度  第４四半期 | 通常  (分割交付) | ９３件 | Ｒ５．Ⅰ  Ｒ５．Ⅱ  Ｒ５．Ⅲ | １０，９７６，９８６  １０，６６９，２９６  １１，４２７，５４０ | １，０５７  ４００  ６２７ | ２３，０３６，８７６ |
| 令和６年度  第１四半期 | 通常  (分割交付) | ９２件 | Ｒ５．Ⅱ | １０，６６８，２９６ | １，４５０ | １５，４６９，０２５ |
| 令和６年度  第２四半期 | 通常 | 0 |  | ０ | 0 | ０ |
| 令和６年度  第３四半期 | 通常 | ０ |  | 0 | ０ | ０ |
| 合　　計 | 通常 | － | ― | － | － | ３８，５０５，９０１ |

（５）事業の運営に関する実態調査

令和６年９月４日付け６全日基第４９号業務により、全日基の理事長から実施通知があり、過去の調査実績および契約数量等を勘案し、実態調査要領に準じて調査対象(１荷受組合、１特約店)を選定しました。

令和６年１１月１４日および１１月２０日に、現地において聞き取り調査を実施しました。いずれも、配合飼料価格安定基金の運営に係る手続きは、適正に執行されていました。

（６）事業に係る事務処理要領と全日基の業務方法書の改定

全国共通の「配合飼料価格差補てん事業事務処理要領」と全日基の「配合飼料価格差補てん事業業務方法書」が、令和７年１月版として発行されましたので、各飼料荷受組合（製造業者）ならびに滋賀県会員特約店に１冊ずつ送付しました。

２　配合飼料価格高騰対策緊急支援事業

（１）滋賀県が、令和４年度から実施している事業について、定款第４条の（３）に基づき事業実施主体として参加しました。

（２）今年度は、交付金の交付要件を見直され、配合飼料価格安定制度の補てんが発動していなくても、原料価格の上昇分に応じて交付できるよう補助金交付要綱を改正されました。

当基金協会の実契約者数８４者のうち、配合飼料購入実績のある８１者を交付対象者として事業実施しました。

（３）補助金額

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 期　　間 | 交付  対象者 | 交付対象数量  (kg) | 支援単価  (円/トン) | 交付金額(円) |
| 令和５年度第４四半期 | ７９者 | 10,６２９,７４４ | ４,９00 | ５２,０８５,７４５ |
| 令和６年度第１四半期 | ８０者 | １１,３５０,８７０ | ５,０００ | ５６,７５４,３５０ |
| 令和６年度第２四半期 | ７９者 | 10,７６０,９５０ | 3,800 | ４０,８９１,６１０ |
| 令和６年度第３四半期 | ７８者 | １１,７２５,５２0 | 2,600 | ３０,４８６,３５２ |
| 計 | － | － | － | １８０,２１８,０５７ |

３　畜産高度化支援リース事業

定款第４条の(２)に基づき実施した畜産高度化支援リース事業については、貸付料、貸付機械譲渡料、保険料等の徴収および納付ならびに施設の管理状況の把握に努めました。

（１）事業主体　一般財団法人畜産環境整備機構

（２）機械の貸付内容

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業名 | 貸付者数 | 年度 | 貸付機材 | 備　考 |
| 直接リース  堆肥保管施設整備リース事業 | 1 | 平成25年度 | 堆肥置場2棟、ｼｮﾍﾞﾙﾛｰﾀﾞｰ | 1/2  補助付き |
| 1 | 平成26年度 | 堆肥置場2棟、発酵機 |

（３）貸付料の徴収および納付額

①平成２５年度貸付分

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 貸付施設等名 | 譲渡代金 | 消費税相当額 | 計 |
| 堆肥置場２棟 | 6８０,000円 | 3４,０00円 | ７１４，０００円 |

②平成２６年度貸付分

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 貸付施設等名 | 基本貸付料 | 附加貸付料 | 消費税  相当額 | 保証  保険料 | 計 |
| 堆肥置場２棟 | 887,490円 | １３，３１１円 | ７０，９９８円 | １１，３７０円 | ９８３，１６９円 |

４　肉用子牛生産者補給金制度事業

定款第４条の(３)に基づき実施した肉用子牛生産者補給金制度事業については、契約者に対して子牛の個体登録、販売・保留確認申出等の手続きを進め、生産者負担金と手数料の徴収および納付を行いました。

なお、１２か月齢の子牛の保留確認については、関係する飼料荷受組合様と飼料販売特約店様に再委託し現地調査いただきました。

また、６月１９日には、一般社団法人滋賀県畜産振興協会が実施する事務委託先執行状況調査を受けるとともに、契約生産者調査・指導に同行しました。

（１）事業主体　一般社団法人滋賀県畜産振興協会

（２）契約者数　１１者、事務手続き対応７者

（３）生産者負担金等の徴収および納付額

（令和5年11月2日～令和6年11月1日生まれ）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 品　　種 | 個体登録  頭数 | 生産者負担金 | | | 手数料  （1,000円/頭） |
| 頭数 | 単価 | 金額 | 金額 |
| 黒毛和種 | ４９８ 頭 | ３８９ 頭 | 400円/頭 | １５５，６００ 円 | ４９８，０００ 円 |
| 交雑種 | ２４５ 頭 | ２４５ 頭 | 800円/頭 | １９６，０００ 円 | ２４５，０００ 円 |
| 合　　計 | ７４３ 頭 | ６３４ 頭 |  | ３５１，６００ 円 | ７４３，０００ 円 |

（４）補給金の交付

(独)農畜産業振興機構から契約者指定口座に直接交付

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 黒毛和種 | | 交雑種 | 交付金額  （単位：円） |
| 交付単価 | 交付頭数 | 交付単価 |
| 令和５年度第４四半期 | － | － | － | － |
| 令和６年度第１四半期 | ２２，６００円／頭 | １１８ 頭 | － | ２，６６６，８０0円 |
| 令和６年度第２四半期 | ６５，１００円／頭 | １２８ 頭 | － | ８，３３２，８０0円 |
| 令和６年度第３四半期 | ４２，１００円／頭 | １４０ 頭 | － | ５，８９４，００0円 |
| 合計 |  | ３８６ 頭 |  | １６，８９３，６００ 円 |

５　優良和子牛生産推進緊急支援事業

本事業は、和子牛価格の下落時において、飼養管理向上に取り組む生産者に奨励金を交付する事業で、肉用子牛生産者補給金制度に登録した和子牛で販売したものが対象になります。

定款第４条の(３)に基づき、当基金協会が契約している生産者から要望を受け、肉用子牛生産者に対する事業の周知徹底、事業参加申込書のとりまとめ、各種報告書の提出など、一般社団法人滋賀県畜産振興協会会長と事務委託契約を締結しました。

（１）事業主体　一般社団法人滋賀県畜産振興協会

（２）事業申請　４者

（３）実施状況

肉用子牛生産者補給金制度の契約者のうち４者が事業参加されました。

令和６年度第１四半期、第２四半期、第３四半期に、平均価格が発動基準を下回ったことから、飼養管理向上の取組数に応じて奨励金が交付されましたが、事業参加された４者では販売した和子牛がいなかったため交付対象にはなりませんでした。

６　畜産経営者支援事業

全日基から毎月届く「配合飼料価格安定制度を巡る情勢（Ｂ版）」を会員および理事と監事に配信しました。

また、定款第４条の(４)に基づき、全日基や滋賀県が発信する家畜防疫等に関する情報について、希望される会員を主としてメール送信しました。

・全日基からの情報

ランピースキン病等に関するもの（受信６回）　１回

・家畜衛生情報

高病原性鳥インフルエンザに関するもの　　　４６回

うち、発生予防に関する滋賀県内情報　　　　　３回

口蹄疫、その他防疫対策の徹底に関するもの　　３回

豚熱に関するもの　　　　　　　　　　　　　　１回

米国HPAIウイルス（鳥インフル）　　　　　　１回

**Ⅱ　管理・運営事項に係る報告**

１　会議

（１）総会、理事会の開催

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 開催月日 | 開催場所 | 審　議　事　項　等 |
| 定時総会 | ６.5.2２ | 近江八幡市 | 令和５年度決算報告書の承認、理事および監事の選任、役員の報酬等の支給基準、事務局の業務執行方法 |
| 臨時総会 | ６．８．１ | （書面） | 役員（監事）の改選の件 |
| ７．３．２４ | （書面） | 令和７年度会費の額および徴収方法等の件、役員（理事、監事）の改選の件 |
| 監査会 | ６.４.２５ | 近江八幡市 | 令和５年度事業報告書および決算書類の監査 |
| 理事会 | ６.5.２２ | 近江八幡市 | 令和５年度事業報告および決算、事務局の業務執行方法、令和６年度事業計画および収支予算の変更、総会提出議案 |
| ６.5.２２ | 近江八幡市 | 理事長および常務理事の選定、理事会（書面）議案と日程、臨時総会（書面）議案と日程 |
| ６．７．１６ | （書面） | 役員候補者の総会への推薦および常務理事の選定の件 |
| ６．１０．２５ | （書面） | 役員報酬規程の一部改正の件、庶務規程の一部改正の件 |
| ７．１．１４ | （書面） | 通常補てん積立金および飼料荷受組合会費の徴収方法の件、監事候補者の総会への推薦の件 |
| ７．２．２７ | 近江八幡市 | 令和７年度事業計画および収支予算（案）について、令和６年度臨時総会（書面）議案および日程について、第５０回定時総会の日程等について |

（２）会議、研修会等の参加

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 会　　議　　名 | 開催月日 | 開催場所 | 内　容　等 |
| 一般社団法人全日本配合飼料価格畜産安定基金第１回運営委員会 | ６．４．１８ | 東京都 | 出 席 者：理事長  決議事項：令和５年度第４四半期に係る通常価格差補てん金の分割交付について、分割交付にかかる振込手数料の助成について |
| 一般社団法人全日本配合飼料価格畜産安定基金（引地常務理事）打ち合わせ | ６．５．１３ | 近江八幡市 | 出席者：理事長、常務理事  内 容：滋賀県基金協会事務局の今後の体制について、畜産振興協会への業務委託に向けて事前調整した事項に基づき、打ち合わせを行った。  冒頭、畜産振興協会の髙橋会長・北村専務理事と挨拶・名刺交換された。 |
| 会　　議　　名 | 開催月日 | 開催場所 | 内　容　等 |
| 滋賀県畜産課打ち合わせ | ６．５．１７ | 大津市 | 出席：森川参事・村田副参事（滋賀県畜産課）  北村専務理事（畜産振興協会）  常務理事（配飼協）  配合飼料価格安定基金協会事務局の今後の業務体制（案）について説明した。 |
| 令和６年度家畜保健衛生事業推進会議 | ６．５．２４ | 近江八幡市 | 出 席 者：常務理事  研修内容：特定家畜伝染病への対応について、飼養衛生管理基準について、令和６年度事業計画・組織体制について |
| 家畜防疫研修会 | ６．６．１１ | 大津市、  ｗeb会議 | 出 席 者：事務員、常務理事（web）  研修内容：特定家畜伝染病の発生時状況、本県の危機管理体制、発生時の防疫対応、野生イノシシにおけるアフリカ豚熱対応 |
| 一般社団法人滋賀県畜産振興協会理事会 | ６.6.1３ | 近江八幡市 | 出 席 者：理事長  決議事項：令和５年度事業報告、計算書類の承認、公益目的支出計画実施報告書の承認、通常総会の開催日時・場所および提出議案について  報告事項：（一社）滋賀県配合飼料価格安定基金協会事務局業務の受託について |
| 一般社団法人全日本配合飼料価格畜産安定基金第５１回定時総会 | ６.6.1８ | 東京都 | 出 席 者：理事長、事務員  報告事項：令和5年度事業報告書・計算書類の承認、監査報告の件、令和6年度事業計画・収支予算の件  決議事項：令和６年度会費の額の件、同役員報酬の総額の件、理事・監事の選任の件、その他 |
| 一般社団法人滋賀県畜産振興協会令和６年度通常総会 | ６．６．２７ | 近江八幡市 | 出 席 者：理事長  決議事項：令和５年度貸借対照表・正味財産増減計算書の承認、入会および会費に関する規定の一部改正について  報告事項：令和５年度事業報告書、公益目的支出計画実施報告書、（一社）滋賀県配合飼料価格安定基金協会事務局業務の受託について |
| 一般社団法人全日本配合飼料価格畜産安定基金第２回運営委員会 | ６．７．１８ | 東京都 | 出 席 者：理事長  決議事項：令和６年度第１四半期に係る通常価格差補てん金の分割交付について、その他  報告事項：農水省「あり方検討会」の検討状況について、次期委員会の招集について |
| 会　　議　　名 | 開催月日 | 開催場所 | 内　容　等 |
| 滋賀県養鶏協会第４２回通常総会 | ６．７．１８ | 近江八幡市 | 出 席 者：常務理事  決議事項：令和５年度事業報告・収支決算報告について、令和６年度事業計画・収支予算について、令和６年度経費の賦課・徴収方法について |
| 令和６年度近畿府県配合飼料価格安定基金協会連絡協議会 | ６．７．２３ | 和歌山市 | 出席者：常務理事、事務員  内 容：各府県基金協会における地域情報の交換、配合飼料価格差補てん制度を巡る情勢ほか |
| 一般社団法人滋賀県畜産振興協会令和６年度主要事業担当者会議 | ６.7.2５ | 近江八幡市 | 出 席 者：常務理事  説明事業：近江牛等子牛生産安定対策、近江牛等肥育経営安定対策、生産振興経営対策、酪農ヘルパー対策、家畜防疫体制確保対策 |
| 畜産高度化支援リース事業等全国説明会 | ６．７．３１ | Ｗｅｂ会議 | 出 席 者：常務理事、事務員  説明事項：令和５年度LEIOのちくかんリース事業に係る事業の特徴、事業の申請・審査のポイント等、貸付決定から貸付終了までの流れ |
| 理事長と一般社団法人滋賀県畜産振興協会会長との面談 | ６．９．１２ | 近江八幡市 | 出 席 者：理事長、常務理事（配飼協）  会長、専務理事（畜産振興協会）  協議事項：配飼協事務局業務の委託内容について |
| 渡邉監事打ち合わせ | ６．１０．２ | 近江八幡市 | 出席者：渡邉監事、吉田氏（後任）  常務理事、事務局長、事務員  内 容：人事異動に伴う役員（監事）の交代について |
| 一般社団法人全日本配合飼料価格畜産安定基金第３回運営委員会 | ６.10.1７ | 東京都 | 出席者：理事長  報告事項：農水省「あり方検討会」の検討状況について、正会員の脱退について、次期委員会の招集について、その他 |
| “三方よし”の「近江牛生産」推進に係る研修会 | ６．１１．７ | 近江八幡市 | 出席者：事務員  研修内容：アニマルウェルフェアに関する新たな指針について、生産コスト高騰下における生産性向上対策の再考、変化する消費者ニーズを捉えた近江牛生産技術の確立 |
| 会　　議　　名 | 開催月日 | 開催場所 | 内　容　等 |
| 令和６年度農林漁業関係団体人権研修会 | ６．１１．１２ | 草津市 | 出席者：事務員  講演：ジェンダーを考える  講師：滋賀県人権センター　山村暁子氏 |
| 一般社団法人全日本配合飼料価格畜産安定基金・協同組合日本飼料工業会による令和６年飼料基金関係説明会 | ６.11.2６ | 神戸市 | 出席者：事務員  全日基説明事項：「あり方検討会」の状況、令和７年度に係る計画事務、継続加入推進に係る確認処理、基金間移動に伴う事務処理日程、全日基一般会計の予算編成  飼料工業会説明事項：活動報告について |
| 滋賀県養鶏協会研修会 | ６．１２．３ | 近江八幡市 | 出席者：理事長  演題：鳥鹿養鶏園　鹿次郎のひとりごと  講師：三重県津市(株)鳥鹿養鶏園　伊藤正徳氏 |
| 一般社団法人全日本配合飼料価格畜産安定基金第４回運営委員会 | ７.1.1６ | 東京都 | 出席者：理事長  決議事項：令和７年度の通常補てん積立金・別途納付金の額、長期借入金の返済、通常補てん最低限度額の見直し、事業計画書・収支予算書の設定、会費の額、常勤役員報酬の額、定時総会の招集、保険契約の更新、その他  報告事項：「ワ－クショップ」の実施、次期委員会の招集、その他 |
| 小田島理事打ち合わせ | ７．２．２６ | 近江八幡市 | 出席者：小田島理事、古田氏（後任）  常務理事、事務局長、事務員  内 容：人事異動に伴う理事の交代について |
| 一般社団法人滋賀県畜産振興協会理事会 | ７．３．１３ | 近江八幡市 | 出 席 者：理事長  決議事項：令和７年度事業計画および予算、借入限度額、基金の一時流用、肉用子牛制度の次期業対、自営防の見直し、諸規定の一部改正、次期役員の推薦団体および推薦者数について |

２　正会員の異動

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 会　　　員 | 期首会員数 | 期中の動向 | | 期末会員数 |
| 加　入 | 脱　退 |
| 荷受組合 | １３ | ０ | ０ | １３ |
| メーカー | １２ | ０ | ０ | １２ |
| 特約店 | ３ | ０ | ０ | ３ |
| 計 | ２８ | ０ | ０ | ２８ |

３　役員の異動

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時期 | 就任 | 辞任 |
| 令和６年５月２２日 | 全役員重任 | － |
| 令和６年８月１日 | 監　　　事　　　中所　暁彦 | 監　　　事　　　本田　大介 |
| 令和６年１０月１日 | 常務理事　　　北村　元一 | 常務理事　　　井上　忠雄 |
| 令和７年３月２４日 | 監　　　事　　　吉田　寛章 | 監　　　事　　　渡邉　　章 |
| 令和７年４月１日 | 理　　　事　　　古田　裕平 | 理　　　事　　小田島　威夫 |

４　令和６年度会費の徴収

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 会　　員 | 徴収会員数 | 徴収金額 | 備　　考 |
| 荷受組合 | １２ | ２，８７４，０００円 | １トン当り　６０円 |
| メーカー | １２ | １２０，０００円 | １社当り　１０，０００円 |
| 特 約 店 | ３ | ３０，０００円 | １社当り　１０，０００円 |
| 合 　計 | ２７ | ３，０２４，０００円 |  |

５　基金協会事務局の運営改善に向けた取り組み

令和６年１０月１日から、当基金協会の事務局業務を一般社団法人滋賀県畜産振興協会に委託しました。

これに伴い、基金協会職員は滋賀県畜産振興協会職員と併任し、事務局長と事務員として引き続き基金協会事務局業務を担当することとなりました。

６　通常補てん積立金等の徴収方法

配合飼料価格差補てん事業の運営に関する実態調査や、会議、研修会等で飼料荷受組合や特約店から、通常補てん積立金や当協会の飼料荷受組合会費の徴収方法に対する省力化の要望を伺ったことから、口座振替方法の導入を検討しました。

既対応協会の状況を参考にし、配合飼料価格差補てん事業事務処理要領に基づき、飼料荷受組合等の協力を得ながら各契約者の意向を確認した結果、令和７年度から８組合５２件について預金口座振替により徴収することとなりました。

**Ⅲ　事業報告の付属明細書**

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第３４条第３項に規定する事業報告の附属明細書として記載すべき「報告事項の内容を補足する重要な事項」に該当するものはありません。